



「公共交通」ってなに？

公共交通とは、たくさんの方が目的にあわせて利用することができる交通手段のことをいいます。

市内にはバス（路線バス）をはじめ、鉄道やタクシーなどの公共交通があります。このうち、路線バスはJR千歳駅を中心に12の路線が広がり、一日に約290便が運行されています。

表1を見ると、千歳のバス路線は近隣のまちと比較して、充実していることがわかります。鉄道などと比べて短い距離の移動に使うことの多いバスは、

表1：バスの路線数と一日の便数

	人口	バス路線数	一日の便数
千歳市	92,094人	12路線	290便
恵庭市	68,720人	5路線	34便
北広島市	60,706人	1路線	4便
江別市	122,174人	6路線	133便
苫小牧市	173,996人	23路線	571便

※数字は平成22年度の状況です。
※市内を発着する路線の数で、市外と結ばれる路線は表の数に含まれません。

一番身近な公共交通といえます。市民の「日常の足」である路線バス。続いては、その現状を紹介します。

千歳の「公共交通」

タクシー



時間に関係なく目的地に直接行くことができます。市内には約170台のタクシーがあります。

鉄道（JR）



市内には千歳駅などJR線の駅が5か所あり、近隣のまちや新千歳空港と結ばれています。

バス



市内には2つの事業者が運行する路線バスと、市が委託して運行するコミュニティバス「ピーバス」があります。



路線バス復活物語～序章～

みんなで考える「公共交通」



路線バスの現状は？

1は、路線バスを1年間に利用した方の数です。

市内全体の利用者は昭和45年度をピークに減り続けています。

平成21年度の利用者数は263万9千人で、この1年間だけでも10万8千人、率にして3.9パーセント減っています。

充実した路線があるにもかかわらず、自家用車普及の波に押しされ、減り続ける路線バスの利用者。

路線バスは環境に良い公共交通です。また、路線を維持するために少しでも利用することが必要です。それでも、通勤や買い物などで日ごろ自家用車を利用している人がバスに切り替えることはできないのが現状です。

図1：1年間のバス利用者数

